

霧島

霧島茶 名実ともに日本一へ

10
October.2011
VOL.130

Kirishima City Public Relations, Japan
2011.10.4発行 VOL.130

霧島
名実ともに日本一へ

特集 Special Feature

第65回 全国お茶まつり大会開催
農林水産大臣賞・産地賞ダブル受賞

霧島茶を 名実ともに 日本一へ



発行/〒999-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/office@city.kirishima.jp
編集/秘書広報課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/南国分新生社印刷



広告

心に残るお葬式、後悔しないお葬式のために—

天国葬祭のお葬式勉強会

参加費無料、先着20名様限定！ 参加者募集中！！

第18回
10月15日(土)
AM10:00~
会場 セレモニー国分天国会館

知っておきたい、葬儀の知識

申込期日 10月14日(金)PM5:00まで

第19回
11月5日(土)
AM10:00~
会場 セレモニー国分天国会館

葬儀費用について教えて！

申込期日 11月4日(金)PM5:00まで

お客様の立場に立って、分かりやすくお答えします。

「こんなことくらいで…」

と思われることでも

まずはお気軽にご相談ください。

丁寧に分かりやすくご説明いたします。

こんな不安をお持ちの方はぜひご相談ください！

- 費用は全部でいくらかかるの？
- 家族葬でお願いしたいのだけれど
- 他社の掛金は使えるの？
- 夫婦二人だけなので後のことが心配！

if 共済に入るとどんな特典があるの？

1万円の入会金で生涯会員。

月の掛け金などは一切ありません。

◆遺された方々の負担を少しでも軽くしていただくために生まれた相互扶助のシステムです。全国の葬祭専門業者約1,500社が参加しています。

◆ご葬儀施行後、弔慰金(基本葬儀料金の10%)をお届けします。

ご入会プレゼント！

「if 共済」ご入会の方に、
ギフト券 3,000円相当を
もれなくプレゼント！

セレモニー国分 天国会館

霧島市国分福島 3-1-20



お問い合わせ・お申し込みは



0120-1059-32

通産大臣認可 全日本葬祭業協同組合連合会 加盟店

厚生労働大臣認定 一級葬祭ディレクター8名在籍

第65回 全国お茶まつり大会開催
農林水産大臣賞・産地賞ダブル受賞

霧島茶を 名実ともに 日本一へ

一口飲めば口の中に広がるさわやかな香り、甘味と渋味の調和のとれた深みのある味。霧島茶は全国に誇れる自慢の味です。

「まつ、茶いっぺ、飲んでいっきゃんせ」。鹿児島では、あいさつ代わりに交わされていた言葉です。

「おいしいお茶でも飲んで、ゆっくりしていきませんか」という意味で、せかせかしてけがなどしないように、お茶でもご馳走して、気分を和らげてあげたいとする思いやりの言葉です。最近では、あまり使わなくなった言葉ですが、お茶どころ鹿児島では、お茶は文化として親しまれてきました。

今年、お茶日本一を決める第65回全国茶品評会で、霧島茶が普通煎茶30キログラムの部で個人の1番である農林水産大臣賞と団体の1番である産地賞をダブル受賞、霧島茶は全国に誇れるお茶となりました。

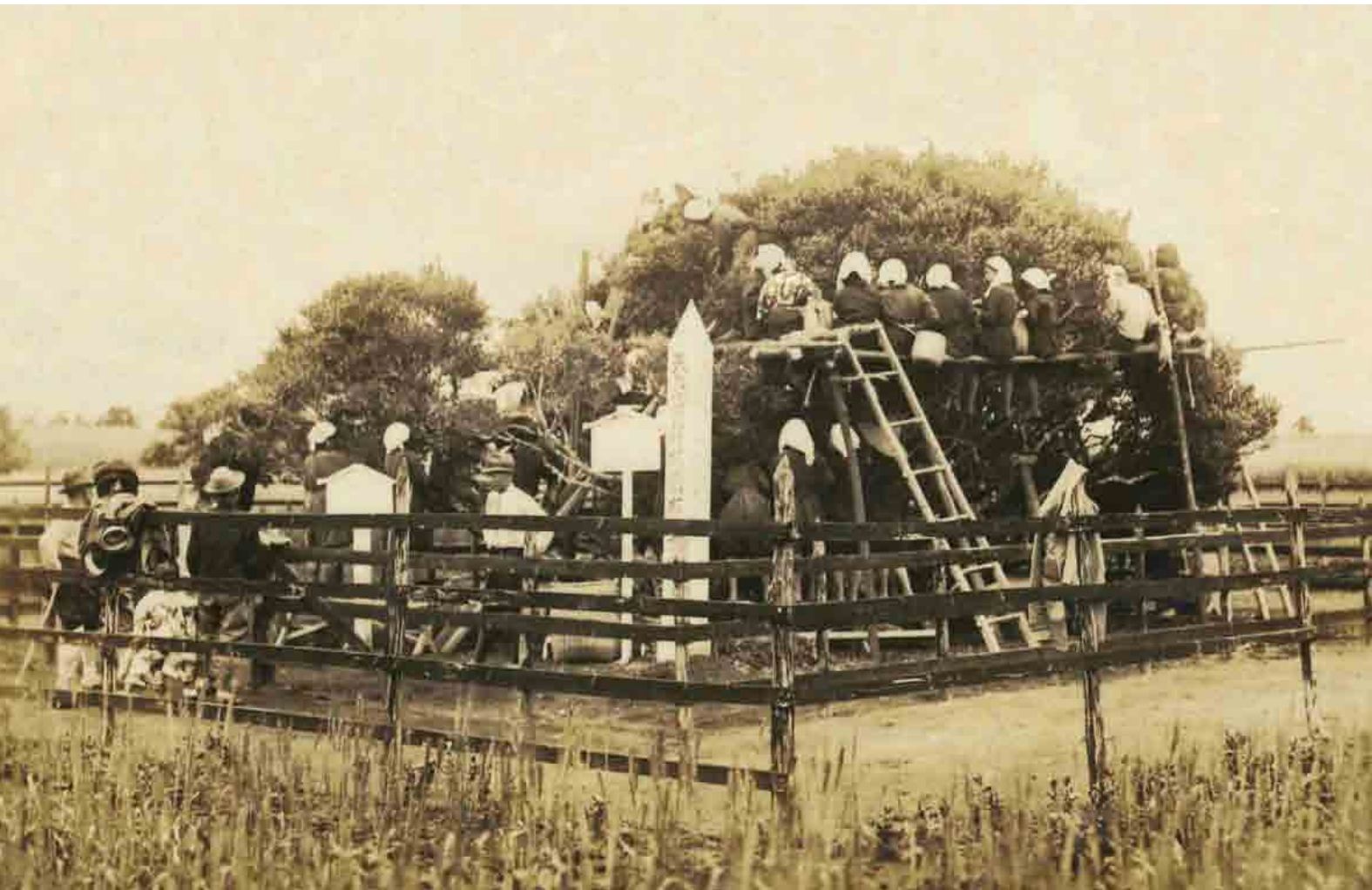
このおいしい霧島茶を作りだしているのは、高冷地特有の自然の恵みと茶生産者の皆さんの努力、そして「おいしいお茶を作ろう」という目標に向かって生まれた強い結束でした。

11月11日から13日までの3日間、全国から茶業関係者が

集まる「全国お茶まつり大会」が霧島市で開催されます。そこは、霧島茶を全国にPRする絶好の舞台。今回は霧島茶のおいしさの秘密と、「霧島茶ブランド化」への可能性を探ります。



霧島茶がおいしい理由



「初代 大茶樹」の茶摘みの様子



昭和12年ごろに撮影された「初代 大茶樹」

鹿兒島縣茶業組合聯合會所

などを指して霧島市茶業振興会を設立しました。

まず取り組んだことが全体の品質の底上げ。合同で研究会や視察を行い、悪い部分があればみんなでアドバイスをしあい、技術の共有もしました。JAや県の職員の方などの協力もあり、霧島茶のレベルが上がっていきます。そして、みんなの努力が形として現れたのが、今年の第65回全国茶品評会の結果。普通煎茶30kgの部で溝辺町の有村幸二さんが1位の農林水産大臣賞を獲得、2位から11位までも霧島市の茶生産者が獲得し、昨年に続き2年連続で産地賞も獲得。みんなの努力がしっかりと実を結び、霧島茶は日本一のお茶となりました。

霧島茶のおいしさは、大自然の恵みと、昔からお茶を大切に受け継ぎ、守ってきた先人たちの思い、そして「おいしいお茶を作りたい」と思いを一つにした茶生産者たちの努力が作り出したもの。どれか一つでも欠けると味わうことのできない味。そんなお茶が、このまちにはあります。

霧島茶のルーツともいえるのが、牧園町にあった樹齢300年の大茶樹です。江戸時代に植樹され、高さ4・5m、枝の張りは最長で9・6mもあり「牧園大茶樹」とも呼ばれ、収穫されたお茶は、「不老長寿のお茶」として霧島神宮などに奉納されてきました。

霧島の大茶樹

霧島茶を作っています。

そんな自然が作り出す霧や寒暖の差などが、高冷地特有のさわやかな香りとまろやかな甘み、そして豊かなコクを生み出し、味と香りが自慢の霧島茶を作っています。

南は雄大な桜島が浮かぶ鹿児島湾、北には日本最初の国立公園で、日本ジオパークに認定されている霧島山。海拔0mから標高1700mの間に、豊かな自然が広がっている霧島市。



霧島茶 イメージキャラクター 茶ノミコトくん

現在は枯れてしまいました。この大茶樹から大正初めに挿し木した「二代目」の大茶樹が同地区の大茶樹公園にあり、こちらも樹齢約100年、高さ4・5m、枝の張りは約6mと大きく成長しています。9月には、同じく挿し木をして近くに植えられていた大茶樹も同公園内に移され、5本の大茶樹が霧島茶のシンボルとして大事に守られています。

思いを一つに

平成19年3月、市内の茶生産者たちが生産技術の向上や「霧島茶ブランド」の確立な



牧園町にある大茶樹公園 (11月1日オープン予定)

茶生産者の思いを強く感じました



全国茶品評会審査員 佐藤 昭一さん

茶品評会では、外観、香り(香気)、色(水色)、味(滋味)の4つを審査します。農林水産大臣賞の有村幸二さんのお茶は全てが満点で、かごしま茶の特徴である甘味と渋味の調和の取れたコクのある風味があり、さらに高冷地特有の香り豊かなお茶ができていました。上位に入賞したお茶も甲乙つ

けがたい出来でした。近年の霧島茶を見て感じるの、茶生産者の思い。茶業振興会が一つになり、研修会などを開いて、みんなでおいしい霧島茶を作ろうという熱い思いを強く感じます。これからさらに、地域に根差したものにしていければ名実ともに日本一のお茶になると思います。



元気の秘訣は霧島茶

牧園町万膳地区で茶業を営んできた西ツルエさん。今では息子の芳夫さんが引き継ぎ、過去に天皇賞を獲得するなど、おいしい霧島茶をしっかりと受け継いでいます。

ツルエさんの趣味は野菜作りと手芸。畑にはトウモロコシやスイカなど、たくさんの野菜が植えられており、自分で植え付けから収穫までします。手芸もミシンなどは使わず、全て手縫いで小物入れなどを作ります。今年88歳、元気の秘訣は自慢の「お茶」でした。

「子どものころからお茶を飲んできました。外出から帰ってきたら、いつもお茶が飲みたくなります。お茶の香りと風味が癒やしてくれるように、一口飲むだけでホッと

します。私にとってお茶は、心も体も元気にしてくれる特別な薬です」

お茶は思いがけない効果ももたらしました。畑の堆肥に工場で余った茶葉を混ぜたところ野菜の発育が良くなり、おいしい野菜ができるようになりました。以来、ツルエさんの畑の堆肥は茶葉。「今年も実のぎつしり詰まった甘いトウモロコシができました」とうれしそうに話します。

お茶は元気の源

日本茶の起源は、中国から渡ってきたといわれています。中国では、もともとお茶は薬や解毒剤として用いられていました。日本でも薬として飲む習慣があったようで、「お茶を一杯」という言葉は、こ

大好きな霧島茶と茶葉入り畑で作ったトウモロコシ。両方の最高の出来にご満悦のツルエさん。



ツルエさんが作った手作りの巾着



霧島茶に込められた思い

写真右から有村幸二さん、二男の幸峻くん、父幸男さん

農林水産大臣賞受賞 / 有村幸二さん

「ようやく少し、父に近づくことができました」。農林水産大臣賞受賞の知らせを受けてから2週間、ようやく実感が湧いてきた有村幸二さん（溝辺町）は、感慨深そうに話します。

お茶農家に生まれた幸二さん。子どものころから茶業を手伝い、父幸男さんの背中を見てきました。大学で農業を学び、卒業後は迷わず幸男さんのもとに弟子入り。以来26年間、今でも幸男さんと共に、先祖から受け継ぐお茶を守っています。

幸二さんには、農林水産大臣賞にかけ強い思いがありました。「父も平成11年に農林水産大臣賞を獲得していたので、いつかは私もとずっと思っていました。今回の受賞で、父に認めてもらえたと思います」。

子どものころから父親の背中を追いかけてきた幸二さん。農林水産大臣賞受賞は、父の技を本当の意味で受け継いだ証となったのではないでしょう。幸男さんも「自分の受賞の時よりもうれしい」と喜

んでいます。

今回の受賞には、もう一つ大きな力がありました。「これまで勉強会や視察などを行い、茶生産者みんなで霧島茶の品質向上のために努力してきました。今回受賞したお茶も、収穫の時などたくさんの方に協力してもらいました。受賞は私だけでなく、茶業関係者みんなでつかんだものです」と幸二さんは話します。

父から学び、そして茶生産者みんなで切磋琢磨してきた幸二さんの霧島茶。そこにはたくさんの思いが詰まっています。そして、そのお茶は、しっかりと次の世代に受け継がれようとしています。「私が昔そうであったように、高校生と小学生の息子が、自ら茶業を手伝ってくれます。息子たちが、霧島茶を作りたい。いつかそう思ってくれるように、しっかりと父から受け継いだ霧島茶を伝えていきたいと思っています」。

父から子、そして孫へと受け継がれる思いは、霧島茶をさらにおいしくしてくれることでしょう。

れに由来すると言われてい

す。
お茶には、さまざまな成分が含まれており、カテキンは抗酸化作用などがあり、肥満防止や血糖値の上昇などを防ぐほか、殺菌作用や虫歯予防にも効果があります。そのほかにもリラックス効果のあるテアニンや疲労回復、風邪予

防、美肌効果のあるビタミンC、新陳代謝を促進するミネラルなど必要な栄養がバランスよく含まれていることから、近年、健康への効果やスポーツ飲料としても高く評価されています。
お茶は元気の源。あなたの元気のために霧島茶はいかがですか。



霧島市茶業振興会会長の蔵園和寛さんが、霧島茶への熱い思いを話してくれました。

霧島茶にかける思い

平成19年3月に霧島市茶業振興会が設立され、おいしいお茶を作るために研修会やお茶の出来を評価する求評会などを開き、ライバルであったも、みんなで教え合ってレベルアップを図ってきました。

特に全国お茶まつりが霧島市で開催されることが決まっからは、必ず今年、農林水産大臣賞と産地賞を獲得しよう、と、会員の結束がさらに強まり、県やJ.A.、市のお茶担当者など、たくさんの方の協力をもらいながら頑張ってきました。2年連続で産地賞を獲得できたのは、全体のレベルが上がってきた証拠。今回の受賞は会員みんなの力によるものだと思います。

私たちにはおいしいお茶を作る以外にもう一つ、大きな目標があります。それは霧島茶の銘柄を全国に広めること。そのために、まずは市民の皆さんにもっと霧島茶を

身近に感じてもらうことが必要だと思い、イベントなどに参加して宣伝したり、小学校などに出向いておいしいお茶の入れ方教室などを開いたりしています。今後も観光や食育、文化などさまざまな分野とタイアップして、もっとたくさんの方に霧島茶の魅力を感じていただきたいです。

皆さんが全国に自信を持って誇れる特産品になるように、これからも会員みんなで一つになって、安心・安全でおいしい霧島茶を作っていきます。霧島の自然とみんなの思いによって育まれた霧島茶にぜひ癒やされてください。

まずは「茶いっぺ」から。そこから名実ともに日本一の霧島茶は誕生します。

おいしい霧島茶が
できました



霧島市茶業振興会会長
蔵園和寛さん

茶いっぺ飲んでいっきゃんせ



参加できる主な催し

◎消費拡大イベント(両日)

- ・場所=お祭り広場、市民広場
- ・時間=12日/午前10時から午後5時
13日/午前10時から午後4時
- ・内容=全国のお茶の試飲・販売、県内の農林水産物やお食事販売(約70店舗出店、S1グランプリあり)、スタンプラリー、クイズ大会、子ども用大型遊具など

◎ステージイベント

- ・場所=お祭り広場
- ・時間=午前9時から午後5時
- ・内容=12日/よさこいハンヤ、霧島九面太鼓、奄美島唄など
13日/国分中央高校ダンス部、霧島中学校吹奏楽部演奏、フラダンス、ジミー入枝ショー、S1グランプリ結果発表など

◎展示(両日)

- ・場所=国分シビックセンター内
- ・内容=全国茶品評会入賞茶展示、お茶に関する児童画と写真コンクール作品展

第65回
全国お茶まつり
鹿児島大会 in 霧島

◎開催日 11月12日(土)、13日(日)
◎場所 国分シビックセンター周辺



アイデア菓子で霧島茶をPR

学校の選択授業で、私は地元の特産品を使った商品開発を学んでいます。今、みんなで取り組んでいるのが霧島茶を使ったお菓子作りです。今年、全国お茶まつり大会が開催されるので少しでも霧島茶のPRにつながればと思い、霧島菓子組合と霧島旅館組合の皆さんと、それぞれタイアップして霧島茶を使ったお菓子を開発中です。私たちが考えたお菓子を全国に紹介して、霧島茶をもっと身近に感じてもらえたらうれしいです。全国お茶まつり大会のイベント会場でも披露されるので、ぜひ来てください。



国分中央高校商業科3年
林真梨乃さん

全国茶品評会の表彰式やお茶に関連するイベントなどがある、全国お茶まつりが11月12日と13日の2日間、霧島市で開催されます。

全国から茶業関係者約800人が集まり、お茶の魅力を感じられます。

その他にもたくさんのお店のステージイベントなどもありますので、ぜひご来場ください。

11月12日(土)、13日(日)に全国お茶まつり鹿児島大会の会場内(国分シビックセンター公民館調理講義室)で、「かごしま茶親子料理教室」「かごしま茶スイーツ教室」「かごしま茶郷土料理教室」を開催します。 ※事前に申し込みが必要です。詳しくは下記事務局へ。(締切=10月14日)



第65回 全国お茶まつり鹿児島大会
in霧島 実行委員会事務局
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島農産園芸課茶業係内(県庁11階)
Tel 099-286-3200 Fax 099-286-5595

鹿児島茶イメージキャラクター 鹿児島茶丸くん



ホッと一息つけるお茶の話題が満載

霧島茶がおいしい理由・茶ブログ・鹿児島空港内霧島茶PRブース・おいしいお茶の入れ方・お茶アラカルト・坂本龍馬と霧島・コラボイベント情報・霧島の特産品紹介・茶園、販売店情報などお茶に関するさまざまな情報が盛りだくさんです。

http://kiri-cha.jp/ 霧島チャチャ茶 検索



スポーツ健康科 初の体育祭

国分中央高等学校の体育祭が9月10日、ありました。創立105周年を迎えた同校では、今年度からスポーツ健康科が新設され、週11時間の体育実技などの専門教科を

学んでいます。当日は、スポーツ健康科1年生40人による、なぎなたや列の編成などの集団演技が披露されました。集団演技では指揮者の号令のもと息のあった、きびきびとした動きを見せました。1年生の桑代啓太君は「本番直前までみんなの呼吸が合わず、不安でいっぱいでしたが今日は、今までの練習の成果がでて最高にうれしいです」と話していました。



努力する者は 必ず報われる

鹿児島第一中学校・高校の文化祭の一環としてメキシコオリンピック銀メダリスト君原健二さん(70)の講演会が9月10日、第一工業大学でありました。君原さんは

マラソン王国日本をリードしてきた功労者です。当日は学生、保護者、一般の約700人が参加。君原さんは「チャレンジする前に、まずは高い目標を持って取り組むこと。私は45年前に出たボストンマラソンで優勝しました。過去のボストンマラソンで優勝した方に招待される2016年の大会を今は、目指しています」と話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



消費者に 安心安全なナシを

JAあいら溝辺地区果樹部会のナシグループ5人が「かごしま農林水産物」にナシで初めて認証され9月13日、Aコープ国分店で認定証の授与式が行われました。これ

は、県が策定した安心安全を考えた基準に従って生産工程を管理する取り組みを認証する県独自の制度です。溝辺町のナシは80年以上の歴史があり酸味が少なく、みずみずしさや豊かな甘さのあるおいしいナシです。認定証を受け取った岩野拓一さんは「認証を受けて自信になった。これからは消費者に安心安全でおいしいナシを届けていきたい」と話していました。



みんなに感謝 毎日楽しく

高齢者に対し長寿を祝福し敬老の意を表すため長寿祝金の支給がありました。9月15日現在で市内の対象者は1,949人。その中から最高齢者や年度内に100歳になる方

など13人の方に対し9月20日、22日に前田市長がお祝いの言葉を贈りました。国分重久の津曲トキさん(100)の長生きの秘訣は「みんなに感謝の気持ちを忘れることなく毎日楽しく過ごし、好き嫌いをなく何でもたくさん食べる。日頃から、掃除機をかけたり洗濯物をたたむなど、体を動かすことも長生きの秘訣だと思います」とうれしそうに話していました。

照葉樹の森へ

ひとつのドングリから命の森をつくる



平成21年3月撮影
(場所：国分シビックセンター前お祭り広場)

2年6か月でこんなに大きくなりました。



平成23年9月撮影
(場所：国分シビックセンター前お祭り広場)

CIVIC NEWS

霧島市には昭和9年、日本で初めて国立公園に指定された霧島山など豊かな自然があります。しかし、もともと

の植生である照葉樹の伐採、スギやヒノキなどの人工林の増加で自然生態系が壊れるなどの問題がはじめています。照葉樹とは、シイ、タブなどの光沢のある葉を持つ樹木で、スギなどに比べ比較的根が深く台風や地震にも簡単には倒れず、防災機能も果たします。保水力が高く水分を含み火事の延焼を食い止める働きもあり、森を増やすことでCO2を、より吸収し地球温暖化防止の役割もあります。ドングリなどを植えることによって落ちた実を小動物が巣穴に持ち帰ります。その、食べ残した実が発芽し、豊かな森を形づくっていくのです。森に餌を求めて生き物が集まり、そこには生物多様性が生まれます。

照葉樹の森づくり
自然環境の保全・再生、地

日時	11月26日(土) 午後1時～5時
料金	無料
会場	国分シビックセンター多目的ホール
定員	300人
申込期間	11月11日(金) まで

日時	11月26日(土) 午後7時～9時30分
料金	中学生以上6,000円、小学生3,000円、未就学児無料
会場	霧島いわさきホテル
定員	100人
申込期間	11月11日(金) まで

日時	11月27日(日) 午前8時30分～午後1時30分
料金	無料(保険料主催者負担)
会場	牧園町高千穂柳ヶ平(みやまコンセル近)
定員	500人
申込期間	11月11日(金) まで

球温暖化対策や環境学習などへの取り組みの一環として、まずは伐採跡地などを地域本来の照葉樹に戻す取り組みがスタートしています。市民や企業などと協力し「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」を推進するために市では平成23年度から「霧島市10万本植林プロジェクト事業」を始めます。年間1万本、10年間で10万本を目標に植林を行います。

植林の方法は、世界で4000万本の木を植えた宮脇昭さん(植物生態学者で横浜国立大学名誉教授)の混植密植による方式を取り入れます。これは、多種多様な照葉樹を密集して植えることで植物間の生存競争を促し、強い立体的な多層群落の森を短期間につくる方法です。

宮脇さんは「もともと日本の照葉樹林帯では土地本来の森があまり残っていません。ほとんど人間が手を入れたスギやヒノキになってしまった。その土地本来の潜在自然植生は鎮守の森を調べればわかり大抵、シイ、タブ、カシ類が

茂っていたはずですよ」と言います。この宮脇昭方式による植林は現在まで市内各地区に計5478本植林されています。プロジェクト初年度の今年、宮脇さんをお招きして、講演会や交流会、植林教室が開催され、来年以降も植林されます。11月の植林教室などに参加してみたい方は問い合わせください。

私たちに出来ること

全ての生物は、ほかの生物と共存しあい生きています。例えば人間も肉や野菜、魚などを食べて生きています。地球上に人間以外の生物がいなくなったらどうなるのでしょうか。そう考えれば人間だけでは生きていくことはできません。私たち人間は、地球を壊すこともできれば、守ることもできます。人間によって少しずつ環境破壊が進み、生物たちの住み場所が奪われてきています。一方、植物や動物を保護することで生態系を守ろうとする動きもあります。森はさまざまな命の源です。木々だけではなく多種多様な

- ◎ 生物が息をする命の森を、一緒につくりませんか。
※ドングリという木はないですが土地本来の森の構成種の果実の総称として使われています。
- ◎ INPO法人霧島ふるさと命の森をつくる会 ☎ (73) 5580
- ◎ 環境衛生課 ☎ (64) 0950

まちを愛し歴史と伝統文化を伝える

日当山中学校

文化祭

学んだことを将来に生かす



「隼人の乱」を演じる3年生の生徒会の皆さん

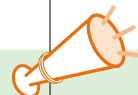
日当山中学校は、昭和22年に創立し現在376人（男子193人・女子183人）の生徒が学んでいます。生徒会では『元気なあいさつ笑顔の日当山中』をスローガンに雨の日も寒い日も朝のあいさつ運動や美化活動、また「エコしぐさ」といったエコ活動にも取り組んでいます。

地元の歴史・文化を学ぶ

同校で力を入れている文化祭が11月4日に行われます。1年生は人権、2年生は平和、3年生は郷土をテーマにした演劇に挑戦し、集団の一員として役割分担をすることで自覚を持たせることを大きな狙いとして取り組んでいます。毎年3年生は、地元の歴史や文化について学び、先人たちの生き方に思いを込めた構成劇を行っています。

今年「隼人の乱」を取り上げ、南方への支配を強める朝廷に対し、自分たちの生活を守るために戦った隼人族の抵抗の物語を上演します。3年生120人が適材適所に役者・道具・音響などの役割を

分担し素晴らしい劇になるように一丸となり取り組みます。桐野秀信校長は「この文化祭は日当山中学校の伝統になってきています。地元の歴史と文化を学び、誇りをもって果立ってほしいと願います。この経験は一生の宝物になるはずです」と話していました。任されることの喜びや、そこから生まれた責任感、将来生徒たちの大きな財産となることでしょう。



V O I C E

◎日当山中学校 生徒会長
3年 安楽聡美さん



今回で中学校生活最後の文化祭です。3年生は毎年、郷土をテーマにした劇に取り組んでおり、役者・音響などの班分けをして、みんなで協力し合い頑張ります。郷土の構成劇は日当山中学校の伝統になってきており、先輩たちの劇に負けないようなものになりたい。さすが3年生と言われるような、完成度が高くみんなの思い出に残る劇ができれば最高です。地元の歴史・文化をテーマにした劇は、なかなかないと思うので観ている親や一般の人に一緒に楽しんでもらえるような演劇をしたいです。



『元気なあいさつ明るい笑顔』霧島図書館

霧島図書館は霧島公民館内にあり、すぐ近くを霧島川が流れ、豊かな自然環境に囲まれています。

図書室内は限りあるスペースを利用し、居心地良い環境で読書や学習ができるように机の配置換えなども行っています。

入口左側には、新刊コーナー



明るい笑顔でお迎え



縦長の大型絵本 「あいさつ」順に並ぶ絵本

ナーがあり、貸し出し中の本が一目でわかるように表示しています。絵本コーナーでは、子どもの目線の高さで「あいさつ」順に本が並び、親子が靴を脱いで読書を楽しめるような環境も整えています。

一般書は、利用者が分かりやすいように関連性のある種類・用途別に本を並べています。約1万6000冊の蔵書ですが、利用者のさまざまなリクエスト本をお聞きし、多くの方がたくさん本に出合える図書室を心がけています。

霧島図書館で、川のせせらぎを聞きながら、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。元気なあいさつと明るい笑顔でお待ちしております。

本に親しむ絶好の季節「読書の秋」

「えほんとわらべうたの会」

- 日時=11月9日(水)、16日(水)、11月24日(木)午前10時30分～11時30分
- 場所=隼人農村環境改善センター会議室
- 対象=親子(2・3歳児対象)20組
- 講師=細川真弓先生
- ※申し込みが必要です。
- ◎国=隼人図書館 ☎(43)7574

おすすめの1冊



ヤマノイチ 地底の人生記録
山本作兵衛 作

世界が認めた「ヤマノイチ」一。半世紀にわたるヤマノイチの生活と労働を描いた貴重な記録。2011年にユネスコの世界記憶遺産に登録された絵画や日記から選択編集してまとめる。

- 【黄金の太刀】山本兼一、【ランウェイ】幸田真音、【中野トリップスター】新野剛志、【笑い三年、泣き三月】木内昇、【涅槃の雪】西條奈加、【舟を編む】三浦しをん、【黒蜜】小池昌代、【とっておきの保存食】荻野恭子、【農家に教わる暮らし術】農文協、【どうぶつがすき】パトリック・マクドネル、【はなのなうた】おぼまこと、【丘の木のものごと】森山京、【ペットショップはぼくにまかせ】ヒルケ・ローゼンボーム、【妖精のぼうし、おゆずりします。】あんびるやすこ、【ココロ屋】梨屋アリエ

イベント名	日 時 [対 象]	場 所
ほとんどの森おはなし会	10月 8日(土)・22日(土)、11月26日(土) 14:00～14:30	
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	11月 5日(土) 10:30～11:30	国分図書館
赤ちゃんとうらべうた・えほんのへや(りんごの木)	11月 7日(月) 10:30～11:00	
語りの部屋(語りの会あもり)	10月 9日(日)、11月13日(日) 11:00～11:40	
おはなしの部屋	10月16日(日) 11:00～11:30 [幼児・小学生] 11月 3日(木) 16:00～16:30 [幼児] 11月 4日(金) 11:00～11:30 [赤ちゃん]	隼人図書館
おはなし会(おはなしの会「さんぽ道」)	10月15日(土)、11月19日(土) 14:00～15:00	横川図書館
えほん・わらべうたのへや(紙ふうせん)	10月12日(水)、11月 9日(水) 10:30～11:30	霧島図書館
お話の時間(紙ふうせん)	10月17日(月) 15:30～16:30	
おはなし会	10月22日(土) 10:00～11:30	福山公民館

国分図書館読書まつり

- 日時=11月13日(日)午前10時～午後3時
- 場所=国分図書館、メディアセンター
- 内容=お話し会・本の交換市・映画ほか
- ◎国=国分図書館 ☎(64)0918

2011「読書週間」

10月27日(木)～11月9日(水)
【標語】信じよう、本の力

- 溝辺図書館 ☎(58)3191
- 横川図書館 ☎(72)1596
- 牧園図書館 ☎(78)3349
- 霧島図書館 ☎(57)0316
- 福山図書館 ☎(56)2026

黄金色に染まる水田、実りの秋がやってきました。収穫を感謝し、お祝いする秋祭りを南九州では昔から「豊祭」と呼び、新米で作った甘酒やコンニャクなどが神様に供えられます。甘酒といえはお正月を連想する人もいると思いますが、もともとは暑気払いに飲む夏の飲み物でした。「神様に感謝の気持ちを伝えたいと農家の方が作るようになったのが、秋の甘酒の始まり。私の母も秋になるとよく甘酒を作ってくれました」と話すのは、農産加工グループ「さざなみ会」代表の村岡ツユ子さんです。甘酒、豆腐、みそ、何でも手作りする母親のもとに育った村岡さんは、自然と食に興味を持ち、いろいろなものを作るようになりました。現在、さざなみ会のメンバーで国分の物産館「じょうもん市場」



たくさんの恵みに感謝
心も体も温まる優しい味



農産加工グループ「さざなみ会」の皆さん(左から2人目が村岡さん)

に甘酒やめんつゆ、菓子類などを出しています。甘いものが少なかった時代、甘くて栄養豊富な甘酒は、大人から子どもまで喜んで飲まれていました。「小さい頃、いろいろを囲んで家族みんなで飲んだことを思い出します。私にとって甘酒は秋の味。少し寒くなってきたときに飲む、心も体も温まる思い出の味です」とほほ笑む村岡さん。その味を大切に自分でも作り続け、今では三人の子どもたちの思い出の味にもなっています。白くてとろとろ、麴の香りと優しい甘み。秋の甘酒は感謝の心。いつもお世話になっているあのひと、温かい甘酒を飲みませんか。

レシピ

【材料】もち米1kg、甘酒麴500g、焼酎50cc
【作り方】①家庭用もちつき機でもちをつく。

②甘酒麴に焼酎をまぶす。
③①に②を入れ、よく混ぜる。
※2~3日経ったら甘味がでておいしい。
※お好みで水で薄めて温めて飲む。
※麴から作る方もいらっしゃいますが、今回は市販の甘酒麴を使う簡単レシピを紹介しました。



※国分じょうもん市場では、毎月第4日曜日に感謝祭を開催。10月23日は感謝の気持ちを込めて、甘酒やコンニャクが振る舞われます。

EVENTS
環境情報

祝! 日本ジオパーク認定



◎環霧島会議構成市町のイベントなどをご紹介します。

湧水町

湧水町高原フェスタ・彫刻造形展

- 日時=11月5日(土)、6日(日)午前9時から
- 場所=栗野岳レクリエーション村
- 内容=栗野岳の紅葉の見ごろに合わせて開催されるイベントで、恒例の「彫刻造形屋」では、杉や竹を使って作られた巨大な作品のオブジェが楽しめます。また、高原コンサートや地元特産品の販売などいろいろなイベントがあります。



◎問=高原フェスタ実行委員会事務局(商工観光課内) ☎(74) 3111

都城市

山之口弥五郎どん祭り



- 日時=11月3日(木)午前10時から
- 場所=的野生八幡宮・的野農村村公園
- 内容=九州南部に伝わる民俗文化財の祭り。顔に朱面をつけた身の丈4尺の弥五郎どんを先頭に、神馬やみこしなどの御神幸行列が練り歩きます。弥五郎どんに触れると病気をしないとの言い伝えもあり、毎年多くの見物客でにぎわいます。

◎問=都城市教育委員会 ☎0986(57)3111

ジオパーク
発掘調査隊

狭野神社の杉並木

狭野神社は霧島山の麓にあるため、過去に幾度も噴火の被害を受けています。788年の大噴火では社殿を焼失しており、13世紀の大噴火では社殿と寺の両方を焼失し、300年もの間、御神体は東霧島神社(都城市高崎町)に移されてきました。1565年に元の場所に遷座したといわれます。

神社の参道には、国の天然記念物に指定されている狭野杉と呼ばれる樹齢400年以上の杉並木があります。杉並木は次のような伝えがあります。

豊臣秀吉が朝鮮へ出兵した際に従軍した島津藩主の島津義弘は出陣の際に狭野神社に戦勝祈願に訪れました。義弘の出陣中は神徳院(狭野神社の別当寺)の住職が加久藤にある一本杉の下で三年間、読

経祈願をしました。その甲斐あってか義弘は無事帰ってきました。義弘はそのお礼として、家臣に命じ、狭野神社の境内に杉の挿木奉納を行いました。大正11年5月の調査によれば、大小932本の杉があつたとされ、杉並木は約1kmにわたる参道沿いにあり、昼でも参道は暗く、うっそうとしていたそうですが、その後、台風の被害にあい、多くが倒れ、現存するものはわずか十数本になっています。

また、この地は国の天然記念物に指定されている「仏法僧」という渡り鳥の繁殖地になっていましたが、近年は杉が倒木し、営巣場所がなくなったためか、渡来する鳥は数を減らしています。

僧が描かれた絵馬



杉並木

※「ジオパーク発掘調査隊」は、霧島ジオパーク推進協議会に加盟している霧島市、曾於市、高嶺町の都城市、小林市、えびの市、高原町の5市1町の広報紙に掲載しています。

人の風景

THE SCENE

霧島に生きる

このまちに たくさん笑顔が あふれるように

皆 さんは「ひとreet」をご存
じですか。きりしまミクス（ま

ちづくりの推進や地域活性化などを図る
活動と支援をする合同会社）が3か月に
1回発行している国分の中心市街地の食
やショッピングなどの情報を掲載した無
料情報誌です。表紙には国分のまち中に
立ち、楽しそうに笑う人。ページをめく
るとおいしそうなお料理やすてきなお店、
多くの人の笑顔が目にとびこんできます。
昨年7月に創刊したこの情報誌は4人
で編集され、その中心となっているのが、
きりしまミクスチーフマネージャーの永
田絵美子さんです。

「国分のまちがにぎわいをなくしてき
たと言われるようになって、もう何年も
経ちます。まちの活性化につなげたい一
心で、作り始めました。キーワードは
”ひと”と”通り（street）”と
”物語（story）”。『多くの人にま
ち中の通りを歩いてもらい、お店とお客
さま、お客さま同士など人とのつながり
に新しい物語が生まれたら』との思いを

込めて”ひとreet”と名付けました」

内容はテーマごとにお店を紹介する
「特集」や、まちで出会った輝く人を紹
介する「まちかど写真館」、職人技を持
つ人を紹介する「まちの匠」、そのほか
歴史や食のページもあります。

編集会議では、どんな特集にするか、
誰を取り上げるかじっくり話し合います。
主に特集を担当し、取材から原稿作成、
写真撮影までこなす永田さんですが、創
刊当初は相当な苦労があったようです。

「初めは取材の仕方や原稿の書き方な
ど全くわからず、悩みや緊張の連続でし
た。取材相手は話し好きなばかりでは
ありません。無口な人でもその胸のうち
を理解し、文章で表現しなければならな
い難しさ、もっと聞き出せたらよかった
のにと後悔することもありました」

悩んでいた頃、永田さんにパワーをく
れたのは商店街で働く人たちの笑顔でし
た。「取材を通して、たくさんの人に出
会いました。ここで働く人はみんな、自
分の仕事が本当に好きでやりがいと誇り

を持っていきます。大変なことも多いで
しょうが、いつも笑顔でまちを盛り上げ
ようと頑張る姿を見て、私の仕事はみん
なの熱い思いを伝えることだと確信しま
した。ひとreetを持って歩く人を見
かけたときや取材先のお店に掲載ペー
ジが飾ってあったときは、このまちの魅力
を少しでも伝えられたのではと本当にう
れしくなります」とほほ笑みます。

市外や県外にまで買い物や食事に出か
ける人が少なくない今日この頃。鹿児島
市の高校に通っていた永田さんも当時は
市外で買い物をするのが多かったとい
います。「今の仕事を始めて、これまで
気付かなかったこのまちのいいところを
たくさん発見しました。都会もいいけど、
やっぱりここが好きです。みんなにも身
近なところに魅力的なお店があることを
知ってほしい」と話します。

「地元の人知ってもらい、愛しても
らうことが、このまちに元気をもたらす
最初の一步だと思います。ひとreet
が少しでもその役に立てばと願いながら、
これからも身近で愛される情報誌を目指
して作り続けます」

10月中旬には6冊目を発行。特集では
新しいお店を紹介する予定です。
国分のまちで頑張る人、それを支えよ
うと奔走する人。つながる思いはこのま
ちが好きだということ。永田さんは今日
も笑顔を探してこのまちを駆け回ります。



撮影した写真を確認する永田さん



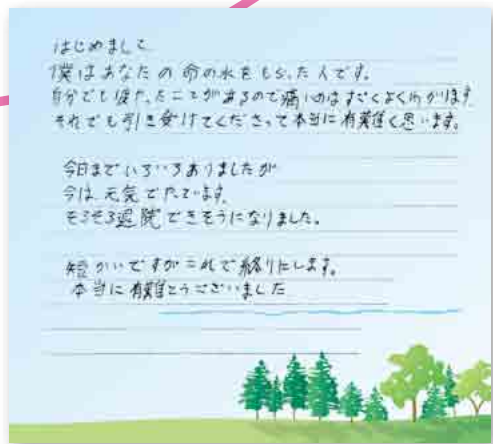
熱い議論が交わされる編集会議（写真中
央：永田さん）

永田絵美子さん (29) Profile
国分の小・中学校、鹿児島市の高校
を卒業後、国分の企業に就職。現在
きりしまミクス社員として情報誌作成
などの仕事に励む。隼人町在住。



We are linked by a strong mind

少しの勇気と行動で 救える命があります



一人目の骨髄移植者から

お身体は大丈夫ですか。移植前はもとより現在でもあなたの体調が悪くならないように祈っております。
本当にありがとうございました。わが息子も一時は大変な思いをしましたが、今は近づく退院に向けて頑張っております。生きていてということには本当に素晴らしいことですね。
一口では語りつくせないほどの感謝の気持ちです。本当にありがとうございます。ご家族の皆様にもどうぞよろしくお伝えください。

(添えられていた母親の手紙)

数万人に一人のドナー

10月は骨髄バンク登録推進月間です。骨髄バンクの登録を始めて20年になる骨髄移植推進財団は、白血病などの血液難病の患者さんを広く公平に救うことを目的に創設されました。ドナー登録者数は全

国で約38万人、鹿児島県で約3600人となっています。
日本で移植を必要とする患者さんは毎年、新たに約2000人登録され、鹿児島県では今年3月末で32人となっています。これまでに骨髄バンクを通じて行われた移植は1万2975件(5月末)、近年は年間約1200件の移植事例があります。

登録したからといって適合する確率は低く、兄弟姉妹であっても四人に一人、他人だと数万人に一人といわれています。その中でも全国的にもまれな二度の骨髄移植の経験をした濱田さんは「生き方が変わった」と言います。

息子に元気をもらう

27歳のときに骨髄バンクに

国分中央地区
濱田和直さん(46)



登録。2年後の平成7年に提供することが決まりました。そのときは「合格通知」がきたような気持ちだったそうです。しかし、結婚をし、すでに三人の娘の父。まだ小さい子がいるからやめるようにと両親や友人らは口をそろえて反対しました。それでも、「闘病中の人を助けたい」という思いから移植を決断。骨髄移植ではドナーも患者も誰に提供し、誰から提供されたのかは知らされません。

平成8年と16年に二度の骨髄提供を経験した国分中央地区の濱田和直さん。
ドナー(骨髄提供者)と患者は誰に提供したのか誰に提供されたのかお互いに知ることはできません。しかし、そこにはお互いを必要とする目に見えない絆がありました。

ただ、財団を通じて二度まで手紙のやり取りができました。「手紙の内容、幼さの残る筆跡と母親の手紙で男の子と読むだけではわかりました。息子ができたようでした。手紙はこの一度きりでしたが、そのあと、つらい時や苦しい時にこの手紙を読み返し、元気をもらいます」と濱田さん。このことをきっかけに人への思いやりの大切さを深く思うようになりました。

地域への広がり

平成9年には一人でも多くの人に思いを伝えたくて「金色のクジラ」の映画上映を企画。白血病の小さな弟の命を

救うために兄やその家族が力を合わせて努力する実話に基づいてつくられた映画でした。費用は50万円、個人としては大きな額でしたが、「やっでできないことはない。これをするのが生きている証なんだ。今やれることをやろう」と上映を決めました。
家族や友人らと実行委員会を立ち上げ、チラシの配布やポスターの掲示、チケットの販売など約半年かけて成功させました。「テレビコマーシャルのときには友達のお母さんがわざわざクジラのお面を作ってくれました」とみんなの善意に感謝しています。
実行委員として携わった同級生の川崎敏朗さんは「彼の

真剣な姿に共感し、白血病で苦しんでいる人たちのためになればと協力しました」と当時を振り返ります。
その後は会員だった国分青年会議所(現在の霧島青年会議所)で骨髄バンク登録の活動を始めました。理事長に就任した平成11年には骨髄バンク登録だけではなく、ミニコンサートや福祉団体などへ活動の場の提供をしたハートフルフェアを開催。「命の尊さ」「人への思いやり」を伝える取り組みへとつながっていききました。

父に感謝する娘の思い

平成16年、二人目の患者と適合。「数万人に一人という

割合ですから正直驚きました。でも移植することに迷いはありませんでした」ときっぱり。当時、中学2年だった長女の琴未さんは父親に対する思いを作文につづっています。「父から骨髄移植を通して、人の優しさや思いやりを学んだ。私は父に深く感謝している。私も二十歳になったら骨髄バンクに登録して、父のようになりたい」。今年二十歳になった琴未さんは18歳の時に登録、今「合格通知」が届く日を待っています。だれかがどこかで私たちの助けを求めています。そのために私たちは生かされているのでしょうか。

骨髄移植や献血だけではなく

く、人に優しくする、人を思いやること。私たちにも何かできることがあるのかもしれない。一人一人の善意が住んでよかったですと思えるまちづくりにつながっていきます。



平成21年まで11年間続いたハートフルフェアは骨髄バンク登録だけではなく福祉や環境団体などへ活動の場の提供などを行ってきた。

見えない絆が 人を救う

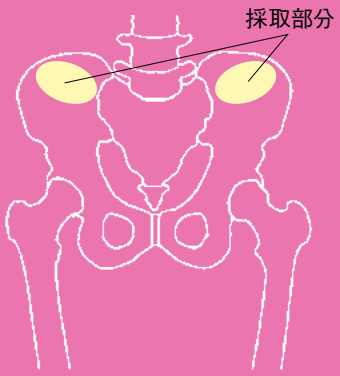
骨髄移植の基礎知識

骨髄移植とは

病気などの理由によって正常な造血が行われなくなった場合に、患者さんの骨髄を健康な人(ドナー)から提供された骨髄に置き換えて(実際は骨髄液を静脈から注射して)病気を根本的に治そうというのが骨髄移植です。骨や臓器の移植ではなく骨髄液の移植のことです。

骨髄とは

骨髄は硬い骨の内部に存在するスポンジ状の組織です。そこは骨髄液で満たされており、赤血球、白血球、血小板などの血液細胞のもとになる造血幹細胞が含まれています。



骨髄採取は腰の骨から

骨髄液は太い神経がある脊髄ではなく骨盤を形成する大きな骨=腸骨(腰の骨)から注射器で採取されます。うつ伏せになった状態で、骨盤の背中側、ベルトの位置より少し下の腸骨から吸引します。

- ◎骨髄バンクの登録は献血の際にもできます。
- ◎登録についての問い合わせ先=鹿児島県骨髄データセンター ☎099(257)1666、始良保健所 ☎0995(44)7960



市民参加型オリジナルミュージカル
「ひかるの夏〜龍馬からの伝言〜」
アンコール公演

がんばろう日本 がんばろう霧島

昨年、市制5周年を記念して上演したミュージカルの再演。
霧島市の歴史をタイムスリップした7人の旅人が時間を旅しながら霧島の良さを再発見し、生きる希望と元気をくれる作品。
役者や裏方など総勢100人を超える市民が演じ、舞台を作り上げます。
サポート企業の協力で市内の小中高校生1,000人を招待します。



ポスター・チラシイラスト（永谷まさる作）

日時 11月20日（日）
1回目：午後1時30分から 2回目：午後6時から

場所 霧島市民会館

料金 大人：2,000円 高校生以下：1,000円（当日は500円増し、チケットは国分シビックセンター売店ほかで販売）

主催 きりしま創造舞台 共催 霧島市教育委員会

サポート企業：アイテック（株）・鎌田建設（株）・九州タブチ・国分電機（株）・シンク（株）・ソフト流通センター・曾山建設（株）・タケシタ調剤薬局（株）・テクノクロス九州・ナンニチ・ナンニチホーム・日本澱粉工業（株）・マイクロカット（株）・南九州ファミリーマート（五十音順）

問い合わせ：きりしま創造舞台ミュージカル公演実行委員会
地蔵原 ☎090(9728)0706

Event

◎イベント情報

文化祭を開催します

市文化協会各支部の文化祭が開催されます。11月は「文化芸術に親しむ月間」です。舞踊やダンス、三味線などの舞台発表や生け花、絵画、陶芸などの展示発表がありますので、ぜひご来場ください。霧島市芸術祭は1月に開催します。詳細は12月の広報誌でお知らせします。

文化祭日程

行事名	展示部門	舞台発表	連絡先
霧島文化祭	10/22(土)9:00~23(日)15:00 【霧島公民館】	10/23(日)10:30~15:00 【霧島公民館】	霧島教育振興課 ☎(57) 1111
牧園支部文化祭	10/30(日)12:00~16:00 【霧島国際音楽ホール(みやまコンサール)】	10/30(日)13:00~16:00 【霧島国際音楽ホール(みやまコンサール)】	牧園教育振興課 ☎(76) 2714
福山支部文化祭	10/30(日)9:30~15:00 【福山公民館】	10/30(日)10:00~15:00 【福山公民館】	福山教育振興課 ☎(56) 2026
溝辺ふるさと祭り	10/29(土)18:00~21:00 10/30(日)8:30~16:00 【溝辺コミュニティセンター(上床公園内)】	10/30(日)10:00~15:00 【溝辺運動場(野外ステージ)】	溝辺教育振興課 ☎(58) 3191
国分支部文化祭	10/31(月)12:00~11/3(木)16:00 【国分シビックセンター市民ギャラリー・多目的ホール】	11/3(木)10:00~16:00 【霧島市民会館】	文化振興課 ☎(42) 1119
横川支部文化祭	11/3(木)9:00~16:00 【横川公民館】	11/3(木)9:30~12:30 【横川公民館】	横川教育振興課 ☎(72) 1596
隼人支部文化祭	11/23(水)9:00~16:00 【隼人体育館】	11/23(水)10:00~14:30 【隼人農村環境改善センター】	文化振興課 ☎(42) 1119



「展示部門」

昨年の国分支部文化祭の様子



「舞台発表」

Health

◎健康情報

インフルエンザ予防接種が始まりました

インフルエンザは通常、初冬から春先にかけて毎年流行する感染症です。典型的なインフルエンザの症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、のどの痛みや咳、鼻水などもみられます。気管支炎や肺炎などを合併し重症化することが多いのもインフルエンザの特徴です。また、インフルエンザは流

行すると、短期間に子どもから高齢者まで膨大な数の人を巻き込むという点でも普通の風邪とは異なります。インフルエンザの予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。発病を完全に防ぐことはできませんが、ワクチンの接種によって、たとえ発病しても症状の重症化を防ぐことができ、合併症や死亡する危険性を抑えることができるため、特に高齢者に対して接種することが勧められています。

●インフルエンザ予防接種 実施上の注意点
インフルエンザ予防接種は、接種を受けてから抗体がつくまでに2週間程度かかります。また、効果が十分に持続する期間は約5か月間とされています。より効率的に予防接種の効果を受けるためには、インフルエンザが流行する前の11~12月に接種することが理想的です。現在、市では次の方に対して予防接種の助成をしています。この期間内に市内の委託医療

機関で、接種を受けてください。
●助成対象者 昭和21年12月28日以前の生まれで接種日時時点で65歳以上の方
●助成期間 10月1日（土）~12月28日（水）
インフルエンザ予防接種は、基本的にご本人が接種を希望する場合にのみ、接種を行います。麻痺などにより同意書に署名できない場合や、認知症の症状があつて正確な意思の確認が難しい場合などには、慎重にご本人の接種意思の確

認を行う必要があります。（最終的に確認ができなかった場合には、予防接種法に基づく接種はできません）
●インフルエンザ予診票
インフルエンザ予診票は個別通知で助成対象者のいる各家庭に、すでに発送していますが、紛失した場合は委託医療機関にもありますので、ご使用ください。また、必ず事前に予約してから接種してください。
◎問 健康増進課 ☎(64) 0905

Health

◎健康情報

健康マイレージポイントは貯まりましたか

健康マイレージ事業の応募期間が始まりました。対象のイベントなどに参加し、ポイントを4ポイント貯めた方は、健康づくり目標の評価をした後、郵送または健康増進課、各総合支所に備え付けの応募箱へ投函してください。抽選で1000人の方に健康グッズや市の特産品などが当たります。今からも参加できますので、詳しくは市ホームページ

をご覧ください。ジをご覧になるか問い合わせください。
●応募期間 10月1日（土）~3月19日（月）
※応募は1人1回のみ。
※広報誌内の「健康」マークは、健康マイレージ対象事業です。
●骨髄バンク推進月間
骨髄バンクとは、骨髄移植の際に骨髄の提供者としてあらかじめ登録しておくことで、骨髄移植は、白血病など

の治りにくい血液の病気に對する有効な治療法です。この機会に骨髄移植に関する正しい知識を身に付けましょう。
●臓器移植普及推進月間
臓器不全に苦しむ患者にとつて完全に病気を治すには臓器移植が必要です。本人の意思がある場合、または脳死の状態や心臓が停止した死後で本人の意思が不明な場合でも、家族の承諾が得られれば臓器提供ができます。県内各地で臓器移植普及推進キャンペーンが実施され、臓器提供

意思表示カードの配布などが行われます。この機会に臓器移植に関する正しい知識と理解を深めましょう。
●かごしま健康イエローカードキャンペーン強化月間
イエローカードキャンペーンとは、県内に肥満者や生活習慣病患者が増加傾向にあることから、運動の習慣化や食生活の改善などを呼びかける普及啓発運動です。この機会に日ごろの生活を振り返り、運動や食生活の改善を取り入れてみましょう。

◎問 健康増進課 ☎(64) 0905
心の相談
「心の病気」は誰でもかかりうる病気です。本人やご家族の方の相談を臨床心理士、保健師が受け付けています。
●日程 10月4・25日、11月22・29日、12月13・20日（いずれも火曜日・要予約）
●時間 午前9時30分~10時30分
◎問 すこやか保健センター ☎(42) 1178



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

※問=問い合わせ先 問=申し込み先

お知らせ

市有地を売却します

- 入札日時=10月27日(木) 午前10時から
- 場所=国分シビックセンター行政棟4階401会議室
- 参加資格=次の方を除きどなたでも参加できます。
成年被後見人、未成年者・被保佐人および被補助者であって契約締結の同意を得ていない方、破産者で復権を得ていない方、市税を滞納している方。
- 申込方法=入札参加申込書を提出
- 申込期限=10月24日(月)
- 決定方法=予定価格以上で最高価格の入札者に決定
- 入札保証金=免除
- 契約=落札後14日以内
- 入金=契約締結後14日以内に全額納入

【入札物件1】

- 所在地/地目=溝辺町有川字蔵園498番3/宅地
 - 地積=4611.45平方 m^2
 - 所在地/地目=溝辺町有川字蔵園498番10/原野(現況=宅地)
 - 地積=141平方 m^2
 - 建物概要=旧中央公民館、旧中央公民館ホール
- ※この物件は建物付きで2筆合わせて1物件です。

【入札物件2】

- 所在地/地目=国分野口東1089番1/宅地
- 地積=936.40平方 m^2

【入札物件3】

- 所在地/地目=国分重久字樋渡596番3/宅地
- 地積=232.67平方 m^2

※詳細は、財務課で配布する入札説明書や市ホームページをご覧ください。

問・問=財務課財産管理グループ ☎(64)0917

「土砂災害防止法」に係る 立ち入り調査にご協力ください

県では、防災対策の充実・強化を図るために、平成13年度から「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)」に基づく区域指定のための基礎調査を進めています。

この法律は、土砂災害から住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれのある区域を明らかにし、警

戒避難体制の整備や一定の開発行為の制限などを行うものです。

調査に必要な図面(地形図)を作成するために、現地で地形などを確認するための簡易な測量を実施しますので、立ち入り調査についてご協力をお願いします。

今後、作成した図面をもとに、土砂災害のおそれのある区域かどうかについて調査を行っていきます。

- 調査実施地域=牧園町全域
- 調査期間=10月中旬～平成24年3月

※現地立入者は、県が発行した身分証明書を携帯しています。

問=始良・伊佐地域振興局河川港湾課 ☎(63)8367

国分郷土館特別展「島津義久」

島津家第16代当主「島津義久」の没後400年にあわせて特別展を開催します。

- 期間=10月15日(土)～12月28日(水)
- 内容=「島津義久」に関する史跡の紹介、史料の展示や「いろは歌」の解説など。
- 開館時間=午前9時～午後5時
- 入館料=小・中・高校生/60円、一般/120円
- 休館日=月曜日(祝日の場合はその翌日)

問=国分郷土館 ☎(46)1562

農作業中の事故にご注意

毎年、農作業中の事故により多くの農業者の命が失われています。

トラクターなどの機械を使用する場合は始業前の点検、シートベルトの着用、危険箇所の確認、ほ場を出る際のブレーキペダルの連結確認を徹底し、けがのないよう作業を行いましょう。作業中はこまめに休憩をとり、無理のない作業を行いましょう。

問=農政畜産課 ☎(64)0910

労働に関する無料相談会

解雇、雇い止め、配置転換、賃下げ、パワハラなど労働に関する相談に無料で応じます。労働者・事業主どちらでもお気軽にご相談ください。(秘密厳守)

- 日時=10月21日(金) 午前10時～午後4時
- 場所=国分公民館3階会議室(シビックセンター内)
- 相談員=県労働委員(弁護士、労働組合役員、会社経営者など)

※申込不要ですが、予約もできます。

問=県労働委員会事務局 ☎099(286)3943

募 集

市営住宅の入居者募集

国分・隼人地区の市営住宅(9月30日までに入居準備のできた部屋)の入居者を募集します。希望の方は申し込み

ください。

申し込みは団地ごとに受け付け(1世帯1団地に限る)、申込多数の場合は抽選となります。

- 申込書の配布・受付期間=10月17日(月)～28日(金)
- 抽選日=11月9日(水)

※申し込みについては所得制限などの条件があります。※部屋の詳細は市ホームページをご覧ください。

※特定公共賃貸住宅の名波ハイタウン4・7棟、牧園地区の高千穂団地、霧島地区の梅之木団地、福山地区の第2東牧之原団地の入居者は随時募集しています。希望の方は申し込みください。

問・問=建築住宅課住宅グループ ☎(64)0909

「World Holiday Tour(世界の祭日ツアー)」

国際交流員と一緒に工作やゲームをして、外国ではどのような祭りを祝っているのか体験してみませんか。

- 日時=10月22日(土) 午後2時～5時
- 場所=牧園町高千穂地区公民館
- 定員=20人(申込多数の場合は抽選)
- 対象者=小中学生
- 参加料=500円程度(保険料込み)
- 申込期限=10月14日(金)

問・問=企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

検討委員を募集します

市立保育園と市立養護老人ホームの経営の効率化やニーズへの対応、役割など今後のあり方を検討する委員を募集します。

●市立保育園あり方検討委員

- 応募資格=お子さんが現在市立保育園に通っている方、児童の保育に関心のある方(市内在住者のみ)。
- 募集人員=3人
- 任期=11月上旬(予定)～平成24年3月31日
- 委員会開催回数=任期中に4回
- 申込期限=10月31日(月) 必着
- 申込方法=住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入の上、「保育園に期待すること」と題した500字程度の文書を添えて、郵送かファックス、メールで。

●市立養護老人ホームあり方検討委員

- 応募資格=家族・親戚などが現在養護老人ホーム(市内に限りません)に入所されている方、高齢者福祉に関心のある方(市内在住者のみ)。
- 募集人員=2人
- 任期=11月上旬(予定)～平成24年3月31日
- 委員会開催回数=任期中に4回
- 申込期限=10月31日(月) 必着
- 申込方法=住所、氏名、年齢、性別、電話番号、応募資格のいずれに該当するかを記入の上、「終の棲家について」と題した500字程度の文書を添えて、郵送かファッ

クス、メールで。

問・問=保健福祉政策課 ☎(64)0904、FAX(45)1900、
メールhoken-seisaku@city-kirishima.jp

パソコン講座

【501】/デジカメ写真加工講座(入門コース)

- 期日=11月8日(火)、9日(水)

【502】/デジカメ写真加工講座(ステップアップコース)

- 期日=11月10日(木)、11日(金)

- 時間=午前9時30分～午後3時30分

- 会場=メディアセンター

- 受講料=1,000円

- 定員/対象=各20人/霧島市民

- 申込方法=往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。

- 申込締切=10月25日(火)

- 受講決定=はがきで通知(申込多数の場合は抽選)

問・問=メディアセンター ☎(64)0919、
〒899-4394国分中央三丁目45-1

第1回錦江湾奥絵画スケッチ大会 ～海を描こう～

- 日時=11月5日(土) 午前10時～午後2時

- 場所=国分ハイテク展望台

- 参加料=1,000円(絵具などの材料代含む)

- 対象/定員=市内の中中学生以上/10人

- 申込方法=氏名(ふりがな)、生年月日、住所、電話番号、(未成年者は保護者名)を記入し、はがきかファックスで。(申込多数の場合は抽選)

- 申込期間=10月11日(火)～24日(月)

※絵筆をお持ちの方は持参してください。

問・問=しみん学習支援公社 ☎(64)0921、FAX(64)0683、〒899-4332 国分中央三丁目8-1

ファミリー・サポート・センター会員募集

ファミリー・サポート・センターとは、育児の援助をしてほしい方(依頼会員)と、援助をしたい方(提供会員)を結び、その援助活動を有償のボランティアで行う会員組織です。

- 依頼会員=市内に居住または勤務する方で、生後3か月以上から小学校までのお子さんをお持ちの方。
- 提供会員=市内に居住する20歳以上の心身ともに健康な方で、自宅で子どもを預かることができる方(資格不要)。

※提供会員の活動に対しては基準額による報酬あり。会員になるには同センターが実施する講習会の受講が必要です。受講希望の方は電話で申し込みください。

- 全体講習会=11月17日(木)

問・問=キッズパークきりしま(ファミリー・サポート・センター霧島) ☎(48)6886

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____ - _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの周りであった身近な出来事や話題など、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中から
ホッと一息霧島茶を5人の方に
プレゼント。応募締め切りは10月
20日(木)当日消印有効です。当
選の発表は、商品の発送を持って
かえさせていただきます。

霧島市役所 秘書広報課 行

(No.130/2011.10)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



ランタナ(クマツヅラ科)

Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの
声を伝えるページです。
本誌への感想、霧島市への思いなど、
たくさんのお寄せください。



前 月号の特集を読んで
らためて長瀨さんの思
いや偉大さを感じて感動しま
した。たくさん写真に写る
子どもたちの楽しそうに遊ぶ
姿がこちらとしてもうれしく
なりました。そして長瀨さん
の曲の「HOLD YOUR
LAST CHANCE」の
歌詞にもあるように、傷つき
打ちのめされてもはいあがる
力が欲しい「や、誰かが人生
でつまづいたらさしのべる思
いやりが欲しい」など、子ど
もたちには今の現状からは
あがってほしいし、思いやり
のある子どもになってもら
いたいです。私たちも遠い鹿

島から応援します。キバレ!!
(なゆママ35歳女性)

9 月11日、震災から半年
を迎えました。ある
ニュースを見て私の思いは変
わりました。それは、一人の
小さな女の子が必死に「お母
さん、どこ行ったの」と叫ん
でいたニュースでした。私は
ポロポロ涙を流しながら、こ
れは全て今の日本で起こっ
ていることなんだ。何とかし
なきゃ。助けなきゃ。という
思いが強くなりましたが、い
ざ行動となると私は募金ぐら
いしかできなかったのです。
しかし、先月の長瀨剛さんの

絆の記事を見てハッとしまし
た。「この日は二度と来ない、
これが最後のチャンスだと
思ってたんだ」という言
葉。私も一日一日を一生懸命
生きることで、人と人との絆
を結び大きな輪になって被災
地に届けていきたいと思いま
した。(かんちゃん23歳女性)

長 瀨剛さんのサマーキャ
ンプが行われた模様の
記事を見て霧島市民の温かさ、
絆の強さに本当に涙がまし
た。福島の子たちの笑顔いっ
ぱいの写真を見て涙が止まり
ませんでした。未来を担うこ
の子どもたちの笑顔は私たち
大人の希望であり、宝物だか
ら私たちは団結して、この苦
境を乗り越えていかなければ
ならないのだと思いました。

霧 島市民の皆さん、お久
しぶりです。福島っ子
の拓朗です。8月はぼくに
とって一生忘れられるのでき
ない思い出になりました。長
瀨さん、おやじの会の皆さん、
市民の皆さんの温かい気持ち
にふれて、言葉では言い表す
ことのできないほど心が熱く
なりました。福島に戻ってか
らは放射線の現実とのたたか
いだけ、以前のような弱い

自分はいません。プールや海
で泳げない分、お風呂でも
ぐって霧島の海を思い出し、
外で走り回ることができない
分、部屋で弟と空手をしてい
ます。何もできないじゃなく、
いろいろ考えながら前に進ん
でいます。ぼくが大人になっ
てお金をかせげるようになって
たら両親を霧島につれて行っ
てあげたいです。「ぼくの第
2のふるさと」皆さん待って
いてください。本当にお世話
になりました。(福島っ子の
拓朗です10歳男性)

娘さんも心強かったことで
しょう。事故を起こした時は
平常心ではいられません。
そつと手を差し伸べてくれた
消防団の方の行為に頭が下が
ります。

何でも初めてのときは不安
になることがあります。でも
同じ思いを持っている人はほ
かにもいます。一人ではない
と思えただけで生きる力がわ
いてきます。

夜 の10時過ぎ娘から電話
が入り、震える声でバ
イト帰りに事故をしたとのこ
と。一瞬身が凍る思いがいた
しました。その時に数台の車
は通りすぎたようですが、一

ま さか自分が双子を授か
るなんて。今回2回目
の妊娠ではあったけれど新た
な不安と戸惑いで頭がいっぱ
いになりました。そんなとき
にふと広報きりしまで知った
「双子みつこの会」を思い出
しました。早速、その会に行っ
てみると先輩ママさんたちが
私の話をよく聞いてくださり、
自分の経験談を交えながら優

このほか43人の方からおは
がきをいただきました。あり
がとうございます。
※文書は添削させていただきます。
場合がありますので、予め
ご了承ください。

私が霧島市を初めて訪れたのは4年前の春、知人に連れられて食育の研修に参加した時でした。会場でNPO法人霧島食育研究会の千葉しのぶさんと出会い、その活動に興味を持ったのがきっかけで、それ以降毎年11月に行われる「霧島・食の文化祭」の度に来鹿し、ボランティアスタッフとしてお手伝いをしていました。

霧島に来る前は神戸の街中に住み、一日中、土を一步も踏まない生活をしていました。病院で調理の仕事をしていて、まとまった休みが取れると地方の直売所や市場に出かけて、その土地にしかない野菜やお菓子を探したり、温泉に入って疲れを癒やしたりしていました。「この森に囲まれた集落の人々はどう暮らしているのだろう」「自分がこの土地で生活すればどう変わるのかな」と、自然に囲まれた地方での生活に興味を持っていました。

30歳で仕事に一区切りつけ

ようと思っていた今年の春先、霧島で食育の仕事をしたいかとお話をいただき、移住を決心しました。

霧島地区の山あいに住み始めて4か月が過ぎましたが、これまでの生活と大きく変わ



兼吉さんが働くのぼる農園の入口
おおきな栗の木の下で

霧島の人と自然の中で

◎兼吉 悟郎

りました。夜明けとともに、猫が玄関の柱で爪とぎする音とほば同じくして鳥や虫が一斉に鳴き始めて目覚めます。家の周りは木立に囲まれていて、朝霧で視界が悪い日もありますが、夏でも涼しい風が

吹き抜け、人間が自然の一部でしかないことを実感しています。

毎日行く仕事帰りの温泉が楽しみで、ときには日当山温泉まで足を伸ばすこともあります。初めは近くの温泉でも泉質が違うことに驚きましたが、お気に入りの温泉も見つかりました。出入りの時にあいさつする習慣はすてきで、お風呂で声をかけてくださる方もいらっしやるのですが、勉強不足の鹿児島弁を理解できずに、私が口をポカーンと開けたままのこともままあります。

一番の関心事は仕事柄、食べ物でした。関西のだしを利かせた味付けとは違って、甘い味付けに初めはびっくりしましたが、だんだん慣れてくると気に入りました。霧島産の味わいのある野菜や風味豊かな地元の小麦粉を使って調理したり、郷土料理の「がねや」こもちが作れるように挑戦したりしています。11月20日に開催される霧

島・食の文化祭」の家庭料理大集合のコーナーでは、霧島市の方が普段食べている料理を持ち寄ってそのエピソードも展示され、暮らしの中の食を見ることができるので楽しみにしています。

霧島市に住んで5か月目、まだまだ霧島の魅力を発掘できそうです。都会とは違って、人との距離の取り方やつきあいの仕方など戸惑うこともありますが、霧島での暮らしを楽しんでいきたいと思っています。

Profile



かねよし ころろ (30)
兵庫県神戸市出身。大阪の調理師学校を卒業後、調理師として勤務。食育に興味があり、4年前、霧島市で開催された食育セミナーに参加。そこでの出会いをきっかけに、毎年11月に来鹿し、「霧島・食の文化祭」にボランティアスタッフとして参加していた。今年5月、NPO法人霧島食育研究会での仕事が決まり、霧島市に移住。現在、食育活動に励んでいる。

霧島市携帯サイト



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧いただけます。パソコンをお持ちでないかたも、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

◎人口 / 127,843人(+87)
男性 / 61,475人(+28)
女性 / 66,368人(+59)
出生111人 / 死亡 95人
転入486人 / 転出417人

◎世帯数 / 58,284世帯(+49)
(平成23年9月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

10 PRESENTS お便りをくださった方の中から ホットと一息 霧島茶プレゼント

「霧島」の名の由来となった霧深い気候とまれにみるこの標高差が、豊かな大自然を育みます。厳しい寒暖の差と、年間を通じた冷涼な環境のなかで育つ「霧島茶」は渋味豊かで香りが高く、安全安心な品質で全国有数の水準を誇っています。この霧島茶をギュッと詰め込んだペットボトル茶24本入りケースをプレゼントします。

◎問い合わせ先 農政畜産課全国お茶まつり対策室 ☎(64)0882



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64)0955 までご連絡ください。

今月の表紙



溝辺町竹子の田んぼ
9月14日 午前7時52分

爽やかな青空の日に、秋を感じさせるような写真を撮りたいと思いチャレンジ。天気予報は晴れでも空は薄曇り。4日目ようやく、最高の秋晴れに遭遇。黄金色に輝く稲穂と、その横にそっと寄り添うように咲く真っ赤な彼岸花、そして全てを包み込むような青空。見ているだけで秋の訪れを感じる光景に思わずシャッターを切る自分がいました。

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ18～200mm
F3.5～5.6 1/800 F7.1 ISO100

先月号特集へのお便りをたくさんいただきました。はがきいっぱい書かれている皆さんの思いに涙がこみ上げてきました。中でもツアーに参加した福島の子どものはがきは、あの時だけではなく今でもしっかりとつながっている絆を感じ、とてもうれしかったです(み)

ひとReetを編集する永田さん。広報誌を作る私たちと通じるところもあり、度重なる取材や撮影に笑顔で対応してくれました。私も国分出身。だけど知らないお店もたくさんあります。取材を通してもっと国分の街を知りたくなりました。とりあえず今夜飲みに行こう(う)

男の中学校の運動会。高校生の長男も長女も運動会には行かないと言う。前日、二男は足首にひびが入るけがをした。昨年は長女が中学生だったので4人で昼食。今年は妻と二男と3人で昼食。新鮮でもあり、寂しくもあった。だんだん子どもは成長していくんですね(た)

本 当につきがけない私。先日、ついに我が家の棟が上がったが地鎮祭も雨、当日も台風接近のため雨が降ったり止んだり。棟上げの時間は5時開始だが、4時50分になっても誰も来ない。いるのは親戚のみ。ぎりぎりになってから、近くの人や友達が来てくれた。助かった(は)

市長コラム 前田終止
海から見つめ直す

歌手の長瀬剛君が福島っ子を元気づけようと取り組んだ霧島市でのキャンペーンの様子は前月号に掲載しましたが、隼人沖の神造島のこと、彼らは、後日ラジオ番組で次のように言っていました。陸の上から海で遊ぶ子どもに向かって「そこからは先は危ないから泳ぐな」と叱るのでなく、子どもより先に大人が海に入り「ここまで大丈夫だからおいで」と安心感を与え子どもを導くことが大切だと。青少年育成のあり方や、災害復旧・復興の指揮のあり方などへの示唆にも思えましました。また、彼はプログラムの随所に最高の感動を子どもたちにプレゼントするたために決して妥協しない、あきらめないプロとしての姿勢を示してくれました。神造島など錦江湾の豊かさを福島っ子の目の輝きから再認識をさせていただきました。8月22日には錦江湾の4自治体で湾奥の環境・防災・観光・漁業などについて定期的に市長がその課題や対策について協議を行う錦江湾奥会議を立ち上げました。海からも霧島市の可能性を見つめ直します。